

レオノール・ワトリング

Leonor Watling

生年月日 1975/07/28

出身地 スペイン／マドリッド

【バイオグラフィ】

■1975年、スペイン・マドリッド生まれ。8歳の頃からクラシック・バレエを習い始める。その後、モダン・バレエなども学ぶようになるが、膝を怪我してバレエの道を断念。93年、レオノール18歳の時、パブロ・ロルカ監督の「Hanging Gardens」で本格的な映画デビューを飾る（同監督の作品には、その後も「Todas hieren」（98）、「Behind God's Back」（00）と欠かさず出演することになる）。これを機に、ロンドンのアクターズ・センターで本格的に演技の勉強を開始。その後は、スペインを中心にテレビや映画に出演し、98年には「My First Night」「A Time for Defiance」と立て続けに主役を張る活躍をみせ、スペインを代表する若手女優としてスペイン映画界で確固とした地位を確立する。そして01年、「ハモンハモン」でペネロペ・クルスを世に送り出したビガス・ルナ監督の「マルティナは海」に抜擢されると、大胆なラブ・シーンにも挑戦し一躍世界的に注目を集める。翌年、今度はペドロ・アルモドバル監督の傑作「トーク・トゥ・ハー」に起用され、終始ベッドの上で眠り続ける昏睡状態のバレリーナという難しい役どころをみごとに演じきり、高い評価を受ける。03年、サラ・ポーリー主演の「死ぬまでにしたい10のこと」では、ヒロインの友人役で初の英語作品への出演も果たす。ビガス・ルナに見出され、アルモドバル作品で一気にブレイクしたペネロペ・クルスと同じ道を辿っていることもあり、いま今後の活躍がもっとも期待されるスペイン人女優である。03年には本国スペインで“マルランゴ”というグループのヴォーカルとして歌手デビューも果たしている。

【フィルモグラフィ】

サルバドール (2026)	出演
ANATEMA (原題) (2024)	出演
ラ・テンプランサ ～20年後の出会い～ (2021)	出演
麻薬王の後継者 (シーズン2) (2020)	ゲスト出演
麻薬王の後継者 (シーズン1) (2018)	ゲスト出演
ミュージズ (2017)	出演 : リディア
恋するグルメガイド (2013)	出演
オックスフォード連続殺人 (2008)	出演 : ローナ
サルバドールの朝 (2006)	出演 : クカ
パリ、ジュテーム (2006)	出演
スパニッシュ・ホラー・プロジェクト ベビー・ルーム (2006)	出演
あなたになら言える秘密のこと (2005)	出演 : ジョゼフの親友の妻
タブロイド (2004)	出演 : マリサ
バッド・エデュケーション (2004)	出演 : モニカ
赤ちゃんの逆襲 (2003)	出演 : カルメン
死ぬまでにしたい10のこと (2003)	出演 : アンの隣人
トーク・トゥ・ハー (2002)	出演 : アリシア
マルティナは海 (2001)	出演